



令和4年度  
**決算**  
寄居町の  
財政状況

町税は3年ぶりの50億円超  
財政力は十分でも  
町民の「幸福度」は

町民所得300万円以内が約75%を占めているなんて、本当に驚きました。個人の所得が増える方法を真剣に考えないといけない。高齢化も大きく影響していますね。健康で働く意欲がある人は、いくつになっても働くといいと思います。元気で働けることほど幸せなことはいくらもありません。宮下和男さん（折原）

元気で働けることほど  
幸せなことはいくらも  
ありません

見る・知る  
よりい 寄居町の財政は大丈夫？ 令和4年度の町民所得は？

項目 [ひと言で言えば]	数値	県内 23町村中
財政力指数 [財政力] 町の財政の体力度。指数が高いほど財政に余裕がある。	0.79	4位
経常収支比率 [弾力性] 町の財政の柔軟性。低ければ低いほど良い。	80.7%	4位
実質公債費比率 [借金返済割合] 町の借金返済額の割合。	3.2%	2位
将来負担比率 [財政圧迫度] 収入に対して将来、町が負担する借金などの割合。	12.5%	4位

総所得金額	該当者数	構成割合
1円～100万円	5988人	28.9%
～200万円	5453人	26.3%
～300万円	4067人	19.6%
～400万円	2323人	11.2%
～500万円	1164人	5.6%
～600万円	753人	3.6%
～700万円	406人	2.0%
～800万円	202人	1.0%
～900万円	104人	0.5%
～1000万円	60人	0.3%
～1500万円	116人	0.6%
～2000万円	40人	0.2%
2000万円超	43人	0.2%

全体の74.8%が300万円以内、91.6%が500万円以内

ギカイの  
視点

町の「所得増」と町民の「幸福度」

町の財政状況は良好ですが、町全体の個人の所得は上がっていない現状があります。物価高騰の社会情勢も相まって、生活の厳しさを感じている方も多いのでは……。

町民一人ひとりの「幸福度」が、町の「豊かさ」につながります。皆さんは、何をもち「幸せ」と感じますか？ 町の「所得増」が、町民の「幸福度」を上げる一因となるか……。考えていきます。

# 歳入 編

令和4年度は  
7億5494万円の黒字決算  
町税は増収。52億2399万円

議会はここに注目・評価!

税負担の不公平解消のため  
滞納者の納付資力、  
即座に把握

新たな取組<sup>デジタル化</sup>で  
税込納率アップ

町は令和4年度から、収納業務の効率化のため、新たなシステム「pipitLINQ（ピピットリンク）」を導入しました。

このシステムは、行政機関から金融機関への預貯金の照会業務をオンライン化することで事務処理等にかかる業務負担を軽減(従来なら2～3か月かかる照会が最短2日で完了)するもの。

滞納者の納付資力等を即座に把握し、生活困窮にある滞納者への納税相談の実施を、そうでない滞納者にはさらなる納税交渉や差し押さえ等につなげるシステムです。

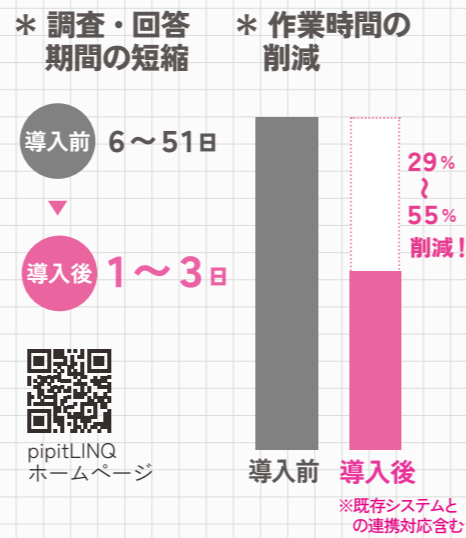
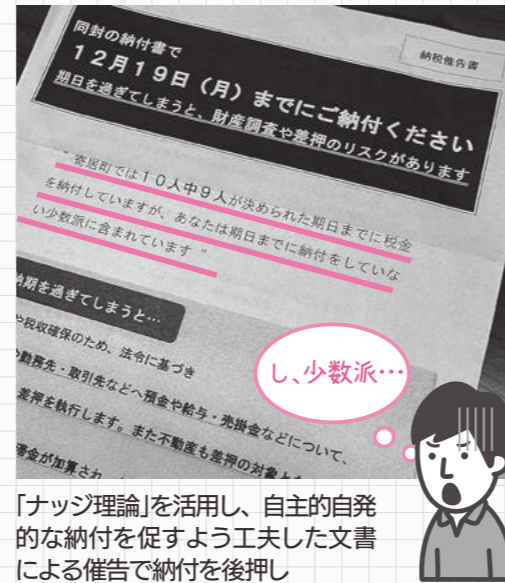
この結果、令和4年度の収納率は、町税の現年課税分が99.43%、滞納繰越分との合計で、前年度比0.17ポイントアップの98.41%に。

国民健康保険税は現年課税分が96.79%、滞納繰越分との合計では、前年度比1.95ポイントアップの91.09%となりました。



ことば

(\*) 不納欠損処分とは  
歳入すべき額を何らかの理由で徴収できず、今後もその見込みがないため、「納めていただくことができない」と決定すること。



見る・知る  
よりい 不納欠損額(\*)  
753万2000円の内訳は？

理由	件数	金額
生活困窮	68	169万9000円
所在不明	39	113万1000円
無財産	42	172万2000円
死亡・倒産	48	211万3000円
その他	37	86万7000円
合計	234	753万2000円